

# ゆーかりだより

2023(令和5年)8・9月合併号

8月23日～9月15日ユーカリの里において新型コロナのクラスターが発生してしまいました。初めての経験でしたので毎日が不安でいっぱいでしたが、職員一同一丸となって感染症対策を行い、予測より早く終息することができました。ご家族をはじめ関係者の皆様には、大変ご心配をおかけしました。合併号では今回のおもな感染症対策について、ご紹介させていただきます。



陽性者対応時のPPE(個人防護具)



居室の入り口付近にワゴンを設置しました(手袋、ガウン、マスク、手指消毒液、ゴミ袋など)。

陽性者・陰性者それぞれのPPE(個人防護具)で支援しました。

※飛沫が飛びやすい食事等の介助時はフェイスガードをつけて介助しました。

潮来保健所より、①陽性者と陰性者の生活空間を分ける②室内の気流の流れに沿って換気する③個人防護具の適正着脱等をご指導いただき対応しました。

「クラスターは必ず終息する」とのご指導を信じ、その日まで奮闘しました。



ごみ処理は手で触れないよう、ふた付・足踏み式の容器を使用しました。ゴミ袋は二重にして廃棄。※容器に入らないものもゴミ袋を二重にして廃棄しました。不特定多数の手が触れるテーブルや椅子・手すりやドアノブなどは、特に丁寧に除菌しました。

生活支援員の配置は、できる限り陽性者対応職員と陰性者対応職員を分けて支援しました。しかし、支援中に感染してしまう職員もいましたので、勤務調整・提供可能なサービス・ケアの優先順位等を検討し、毎日のように生活支援員数の確認を行い、業務を継続しました。

感染症の業務継続計画策定途上でのクラスターを経験したことで、業務継続計画策定のヒントをたくさん得られました。

利用者の感染状況や配置職員の人数によって何をどのように調整して対応すれば良いのか・何をどのくらいストックしておけば良いのか・PPE(個人防護具)の適正着脱方法・関係機関への連絡調整等については、今回の経験を活かし令和6年度からの業務継続計画義務化にむけて策定をすすめてまいります。

食事は朝昼夕ともに併にごはんとおかずを盛り合わせることにし、使い捨て容器の大量廃棄防止にも努めました。全員がベッドサイドでの食事でしたので、配膳・食事介助・下膳の効率アップにつながりました。

